



山ろうだより

山形県立山形聾学校

R 6 第5号

令和6年7月26日

97周年 創立記念式 ～縦割り活動「花を植えよう」～

7月8日（月）に創立記念式が行われました。小関同窓会会長さんが来賓として来てくださいました。祝辞の中で、『先輩が後輩の面倒をみることや勉強に取り組む生徒たちの生き生きとした表情に触れるたびに、うれしくなります。』というお話がありました。

式終了後には、学部を超えたかかわりを大事にした「縦割り活動」を実施しました。上級生が下級生にやさしく声を掛けたり、手を添えたりしながら活動をする姿は微笑ましく、山聾の大切な伝統だと感じました。



～学部の様子から～

幼稚部 『校外学習 蔵王に行こう』

7月10日に蔵王ロープウェイに乗りました。ロープウェイが登るにつれ、徐々に景色は見えなくなり辺りは真っ白でしたが、降りてくるときはきれいな蔵王の景色を見ることができました。強風の中を歩き、蔵王山頂駅近くの地藏尊へお参りもできました。



小学部 『ハードル走のポイントを学ぼう』

小学校体育連盟の事業を活用し、山形大学の学生3名からハードルを跳ぶ際に必要な体の動きや、跳ぶことにつながる練習をモールドステップで教えていただきました。



中学部 『村山特別支援学校との交流』

今年度は、交流活動の事前に村特の学校見学を行いました。校舎を案内していただいた後、村特の先生に質問もしました。そして、7月12日に村特中学部との交流を行いました。玉入れゲームでは、山聾がルールを考えて準備し、説明をしました。とても盛り上がりました。



事前質問の様子



当日のゲーム説明

中・高等部

『交通安全教室』・『情報モラル学習』

7月12日に蔵王自動車学園の先生を講師として交通安全教室を実施しました。特に自転車の乗り方について、○×クイズに答えながら学習しました。また、19日には、消費生活センターの先生から契約や消費者トラブルについて教えていただきました。



交通安全教室



情報モラル学習

～第1回学校評議員会を実施しました。(7月11日)～

本校の今年度の学校評議員(5名)

- 森谷留美子 氏 (本校元校長)
横田 雅司 氏 (横田耳鼻咽喉科医院長)
犬飼 晃 氏 (山形市南山形コミュニティセンター所長)
大沼 久美 氏 (村山障害者就業・生活支援センター ワークライフサポート ふうれ所長)
加藤 麗 氏 (本校PTA会長)



第1回学校評議員会について

7月11日に、第1回学校評議員会を本校校長室で開催しました。今回の会には、学校評議員の方、5名に参加していただきました。会では、県からの委嘱状の手交、授業参観、学校からの報告(本年度の学校経営について、教育概況等)、意見交換を行いました。

意見交換で評議員の方から挙げられましたお話の中からいくつか紹介します。

- 学校の目標や評価について、明確に提示があり分かりやすい。校内外に示していくためにも大切なことだ。ぜひ山形聾学校の存在をより知ってもらえることができるように工夫してほしい。
- 授業参観の際の幼稚部の校外学習(ロープウェイ)の学習では、先生も楽しく遊んでいた。子どもたちの自己肯定感を高めることが大事。また、言っていることが伝わったという経験が大切。地域や福祉の方々との交流や出会いを大切にしていってほしい。
- 授業参観で教室を回ると会釈など挨拶があり気持ちオープンでいいなど感じた。教室の可視化など工夫されていた。就労の場でも多様な人がいるので会社の方が寄り添っていく方向になっている。聴覚障がいへの支援には「～だと(をすると)わかる」などの発信をしてほしい。事業所とのケース会では、保護者や相手先の下承が得られれば支援センターの立場として参加したい。地域の支援機関とも連携していきたい。
- 小学部の廊下にいろいろな言葉が掲示してあり工夫して学習への支援をしている事がわかった。先生方が子供たちに目で見えた情報が一番だということなど一人一人に合わせて対応していることを感じる。一人学級で不安があったが、中学生になりいろいろな経験をしている。特に高等部と一緒に活動した東北聾体では、自分だけではなく、同年代の聴覚障がいの人がいることに初めて気付いたようだ。職場体験では、コミュニケーションの必要性を感じてきたようだ。学校内では経験できないことも学習できたようだった。

～夏季休業中の閉校日～



8月13日(火)～16日(金)は、教員・寄宿舍・事務部の全てを閉校とさせていただきます。各種証明書等の手続きもできませんのでご了承ください。ご協力、よろしくお願いいたします。

■編集後記■

夏季休業中、事故等に関することは、学校へ連絡してください。
休日や夜間は教頭携帯へお願いします。

(文責：坂井)